

『取り組んできた項目(◇や○)はさらに継続し、取り組みが消極的(◆や▲)だった項目は第2学期に「次の一手」を出しましょう！(校長)』

自分の診断結果を集計する時にお使い下さい。1から5は古河三高の重点項目、①から⑫は重点目標です。

様式1 「古河三高の教育(第2・3学期分として)」集計表(※1)

回答者総数 34人

※2 区分 全教師

回答率 72.3 %

1 …上級学校進学を実現する				2 家庭学習の習慣化				3 豊かな人間性…				4 広報活動の充実				5 個に応じた指導				備考
診断項目 ※5	人数	評価点		診断項目 ※5	人数	評価点		診断項目 ※5	人数	評価点		診断項目 ※5	人数	評価点		診断項目 ※5	人数	評価点		
		合計	※3平均点			合計	※3平均点			合計	※3平均点			合計	※3平均点			合計	※3平均点	
①○	34	154	4.5	④○	34	138	4.1	⑥▲	34	131	3.9	⑩	34	135	4.0	⑪	34	130	3.8	
②▲	34	130	3.8	⑤▲	34	127	3.7	⑦▲	33	114	3.5					⑫○	34	156	4.6	
③○	34	144	4.2					⑧▲	34	120	3.5									
								⑨○	34	139	4.1									
計	102	428	4.2	計	68	265	3.9	計	135	504	3.7	計	34	135	4.0	計	68	286	4.2	

◇ ◆ ◇
12月15日(木)現在での集計結果です。

※4 総平均点 4.0

- (注) ※1 学校経営診断カードの分析パターンを応用して集計します。(先生方一人一人の個人目標の分析にも使えます。)
- ※2 全教職員、全教師、(校長)、(教頭)、主任、担当学年、学級、担当教科、分掌部門等の区分、また男女別、年齢(層)別、現在校勤務年数別の区分を明らかにする。
- ※3 各重点目標ごとに評価点の平均点、つまり総平均点を記入する。
- ※4 ※3の「重点目標」の1から5分野ごとの平均点、つまり全分野の総平均点を記入する。
- ※5 問題と思われる項目を抽出し、たとえば、◇(各重点目標中最高値)、◆(各重点目標中最低値)、○(総平均値より大)、▲(総平均値より小)などでマークする。